

なんでも相談会 & インボイス制度個別相談会

要予約 TEL 03-3986-2471

6月のなんでも相談会は、税務・経営相談が26日(木)、法律相談が26日(木)です。ともに13時30分～15時30分まで(予約は15時まで)。30分刻みで要予約。顧問税理士、弁護士が相談に応じます。インボイス制度個別相談会は19日(木)、26日(木)10時～16時。45分刻みで要予約。



(購読料は組合費の中に含まれています。)
定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋 5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日

2か月間の春の拡大 全分会目標達成で終了



統一宣伝行動で立看板を張り替えるさくら分会の仲間たち



改正建築基準法を解説する広瀬さん



盛り上がるかなめ分会の中間決起集会



一番乗り達成を喜ぶさくら分会



中間決起報告会はズームで開催



宮内本部書記と屋間の事業所訪問



事業所訪問する竹鼻女性の会会長

3月27日よりはじめた25年度の春の拡大月間も、5月30日の打ち上げをもって終了しました。支部の拡大目標を82人として、二か月間にわたり取り組んだ結果、83人の新しい仲間を獲得し、全分会での目標を達成しました。

4月13日の統一宣伝行動では、地域の立て看板やポスターを交換しました。そして、同じ日の午後、役員学習会を開き、本部書記の亀川さん、上池袋本町分会所属の広瀬支部住宅センター会長(一級建築士)を講師に招き、今年施行された改正建築基準法について主に学習しました。学習会の後、会場を近所の居酒屋に移し、出陣式を開催し、約60人の仲間が参加しました。

前半好調の上池袋本町分会は、夜間の訪問では会えない事業所の仲間への屋間の訪問行動を積極的に進め、女性の会会長も、屋間に書記と事業所を訪問し、女性社員と交流しながら組合員、女性の会会員の拡大に奔走しました。

前半戦の終了した4月25日の統一行動日では、支部と6分会をズームで

つなぎ、中間決起報告会を開きました。前半の行動を各分会が振り返り、後半に向けての展望をズームを通して報告しました。

5月の連休をはさみ、後半戦開始早々の5月10日に、かなめ分会では分会中間決起懇親会を要町駅近くの人気店「英福」で開きました。5月1日付けで加入したの仲間を含め12人が参加し、大変盛り上がりしました。

後半戦開始早々、さくら分会が一番乗り達成を果たしました。6分会中、拡大目標人数最多9人を掲げた同分会の一番乗り達成は、他の分会を大きく刺激し、同じ週にはかなめ分会があと1人、上池袋本町と南池袋分会があと2人と目標達成に近づきました。支部書記局でも本部書記の応援を得ながら、精力的に屋間の事業所訪問を進めました。普段電話やメールでしかやりとりしない会社代表や、総務担当の方々と、拡大にとどまらず昨今の業界事情や、組合への要望の有無について話し合いました。さくら分会の達成の翌週には、上池袋本町、南池袋そしてかなめ分会が目標を達成しました。この間着実

に成果を上乗せしてきた池袋、椎名町分会も、池袋分会では今年から群会計を引き受けてくれた新しい分会役員が、椎名町では支部の青年部副部長を務める若い仲間が、未加入の建設職人を紹介して加入に結び付けるなど大きく貢献して、それぞれ目標達成を果たしました。5月30日には居酒屋「わん」で打ち上げ式を開き、60人以上の仲間が参加して、全分会目標達成を喜び、分会同士で健闘を称え合いました。

目まぐるしく変化する情勢と、頻繁に改正される法律に翻弄される建設業界で、東京土建の存在意義は年ごとに大きくなっています。新しい仲間の獲得は、未加入の仲間への組合のアピールと同時に、東京土建が厳しい状況の中で、どうしたら多くの建設従事者たちから頼られ、信頼される組織として地歩を築いていけるかを一所懸命に考えることでもあります。

この二か月間の運動が、これからの組合運動の糧になるよう、総括、分析して我が分会と組合全体の今後のビジョンについて話し合ってください。

つぶやき

仲間の一言に救われた思い

昨年より3度の入院を繰り返しました。今年4月には肺炎の最中に腸閉塞になり、緊急入院してかなり危険な状態と診断されました。腸癒着切除の手術は無事成功して、集中治療室から個室に移された日のこと、枕元のスマホの電話が鳴り、それは日雇健保闘争当時の仲間の激励の電話でした。

東京土建の運動史はまだ書いているのかという問いで、「伊藤清初代委員長からの生き証人はあなたしかいない。後世に伝えることは11万人の仲間の教訓となる」と言われ、この一言にじっとしていられない気持ちになりました。苦痛なりハビリも、介護士さんに助けられ思ったより早く退院できました。そして、以前の入院も含め、仲間の助け合い制度である共済制度が大きな助けになりました。改めて、組合が立ち上げた自主共済制度は、労働組合の団結を強固にするものとして不可欠であり、「仲間」こそ組合の「宝」と感謝に耐えない気持ちです。

(作田信義 池袋分会)

毎月開催「インボイス廃止・消費税減税駅頭宣伝」

毎月、支部最寄り駅の「地下鉄要町駅」近くにあるスーパーいさみ屋前で、表題の駅頭宣伝を行なっています。東京土建の他、地域の共闘団体である豊島・文京民商、豊島区労協の仲間達と、5月は27日に開催しました。この日は、白井池袋分会長も初参加してくれました。6月に都議会議員選挙、そして7月に参議院議員選挙を控え、政治に私たちの声を届ける良い機会でもあります。

次回の予定は6月30日(月)、午後4時半からいつものいさみ屋前で開催します。

また、その日は、午後1時から豊島支部で学習会も予定しています。ぜひ、学習会から参加して、学習会終了後にいさみ屋へ移動して宣伝活動にご協力をお願い致します。

日 時 6月30日①午後1時予定
会 場 衆議院第1議員会館 大会議室
参加要請 支部5人(1号動員)・・・
椎名町分会5人(議員会館)
支部5人(2号動員)・・・
各分会5人以上(支部会館)

※インボイス廃止・消費税減税駅頭宣伝

日 時 6月30日②午後4時半
場 所 いさみ屋前(要町駅前)
参加要請 各分会5人以上



声かけしながらティッシュを配る白井さん

より多くの メーデー参加者を得るために 何をしたら良いか



5月1日(木)に代々木公園で開催された第96回メーデーに参加しました。当日は大変天気も良く日差しも強い日となりました。

メイン会場の代々木公園サッカー場での式典では、各組合の訴えに多くの組合員が結集し、主催者発表によると1万4千人が参加し、豊島支部からは50人の仲間が参加しました。

スローガンにもあるように私たちの賃金は30年間横ばいの中、物価は円安やロシア、ウクライナの戦争など様々な影響により急激に上昇しています。

ガソリン、光熱費、食料品など生活に必要不可欠な物の値段が驚くス

ピードで上がっているのは生活者として非常に危機感を抱きます。

このような情勢において各労働組合の役割はとて大きいと思います。

様々な労組が結集し団結する姿は自分の今後の組合活動においてとても良い刺激を受けました。

パレードも含めとても楽しく参加させて頂いたので、より多くの参加者を得るためにも、支部での啓蒙活動やパレードのあとすぐに解散せず懇親会も含める様なかたちで、今後取り組みたいと思いました。

来年は初参加の方も誘って参加したいと思います。

大浦康昭(かなめ分会所属 支部書記長)



メーデー前の週末に集まりデコレーションカーの飾りを製作する実行委員の仲間たち



代々木公園に参集した豊島支部の仲間たち



仲間が作ったデコレーションはコンテストで見事奨励賞を獲得

未来は変えられる! 戦争ではなく平和な暮らし! 2025憲法大集会



憲法記念日が施行を記念し、国の成長を期する事を趣旨としている事を知らなかった。

集会は受付で「LOVE憲法 世界に平和を!」「軍拡ではなく いのち・くらし」私の選んだ「ジェンダー平等 いますぐ実現!」のプラカードを持ち、38000人が参加の会場へ。

憲法学の紺野氏が幸せな暮らしの前提は平和。

昨年、ノーベル平和賞を受賞した被団協の田中氏が核兵器を絶対に使ってはいけない。

理想を高く掲げて世界に訴えていこうと政治評論家古賀氏が。各々訴えた。

4政党からの連帯挨拶があり、若者のリレートークでは沖縄出身の崎浜氏が沖縄の犠牲で成り立っている日本

の平和の現状を変えたいと訴えがあった。

最後にHEIWAの鐘が合唱され、閉会となった。この歌の歌詞に君が(1人たてば)のフレーズに人が集まる大切さを再認識させてくれた。

パレードでは右翼?からヤジが飛んできた。へらへら笑っていたので言い返そうとしたが、非暴力な集会。周りを警察官に取り囲まれている輩に関わる必要はないと思い止まった。改憲反対!戦争反対!ジェンダー平等!等を訴えながら台場駅に到着、解散となった。次に参加するなら、支部の旗を必ず持って行こう!不満は多々あるけれど、日常に感謝し、自分にできる事は何だろう...と考えながら帰路についた。

竹鼻三枝(事業所分会所属 女性の会会長)

フリーランス法施行にともなう 「一人親方との請負契約の 新しいルール」セミナー

日時 6月26日(木) 19時～

会場 東京土建本部と
WEB(Zoom)

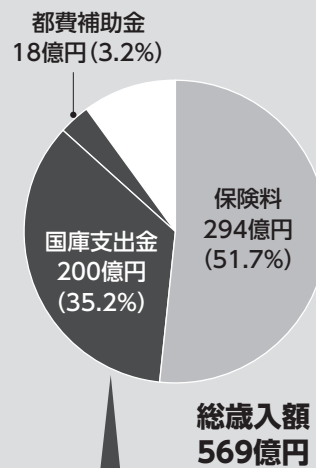
講師 北村博昭特定社会保険労務士(元土建国保専務理事)

2024年11月から「フリーランス・事業者間取引適正化等法」が施行されました。対象となるのは、一人親方と工事を発注する会社との請負契約です。発注する側の会社を守らなければならない新しいルールを学習します。申し込みは、専用申し込み書を送りますので、豊島支部までご連絡下さい。

ハガキ要請行動に 協力してください

今年もハガキ要請行動が始まります。私たちの土建国保は、みなさんから頂く保険料と国や東京都からもらう補助金で運営しています。ハガキ要請行動は、自治体からもらう補助金を減らさないための運動です。何十万枚という要請ハガキを、都や国の担当者が一枚一枚チェックして枚数を数え、10万人以上の組合員(被保険者は15万人)を有する東京土建からの「補助金を減らさず、保険料を現行のまま維持して」という切実な要求に真摯に対応しています。「ハガキなんかを書いて何か変わるのか?」と言ってハガキを書かない仲間に、大いに変えることを説明して、協力してもらいましょう。

2025年度 歳入予算



国と都の補助金で
歳入の38%